

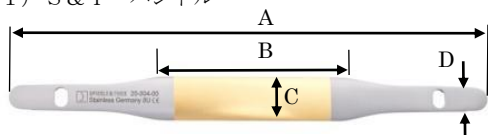
機械器具 44 医療用やすり
 一般医療機器 やすり 11701001

S & T やすり

【形状・構造及び原理等】

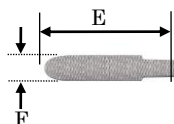
1. 形状・構造

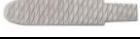
(1) S & T ハンドル



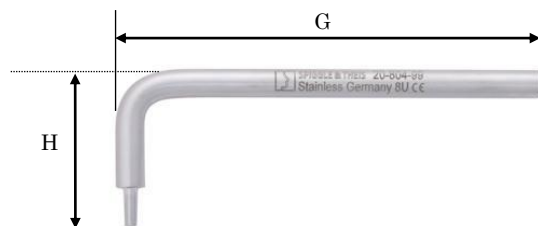
商品名	商品コード	全長 A(mm)	把持部の 長さ B(mm)	把持部の 幅 C(mm)	先端部の 幅 D(mm)
S&T ハンドル	20-804-00	150.0	59.0	13.6	8.0

(2) S & T ラスプ



商品名	商品コード	規格	全長 E(mm)	幅 F(mm)
S&T ラスプ	20-804-01	coarse01 	38.3	7.7
	20-804-02	coarse02 	38.3	7.7
	20-804-03	medium-coarse 	38.3	7.7
	20-804-04	medium01 	38.3	7.7
	20-804-05	medium02 	38.3	7.7
	20-804-06	medium-fine 	38.3	7.7
	20-804-07	fine01 	38.3	7.7
	20-804-08	fine02 	38.3	7.7
	20-804-09	very fine 	38.3	7.7
	20-804-10	extra fine 	38.3	7.7

(3) S & T 取り外しキー



商品名	商品コード	全長 G(mm)	長さ H(mm)
S&T 取り外しキー	20-804-99	72.0	19.0

2. 原材料（接触部の組成）

ステンレス鋼、炭化ダングステン

3. 動作原理

ハンドルを把持し、先端のラスプを目的とする組織に押し当て、表面の平滑化、切削又は切断を行う。

【使用目的又は効果】

本品は、隆起した表面をもつ手持型の手動式外科用器具で、組織の平滑化、削合又は切断に用いる。

【使用方法等】*

1. 使用前の確認

本品が十分に洗浄、滅菌されていることを確認すること。特に、初回使用時には、滅菌前に本品の洗浄を2回以上行うこと。

2. 準備・操作

目的に適するラスプを1種もしくは2種選択し、ハンドルの先端にある溝に挿入して設置する。ラスプを目的とする箇所へ押し当て、表面の平滑化、切削又は切断を行う。

3. 使用後

- (1) ラスプを挿入しているハンドル先端の裏側にある穴に、専用の取り外しキーの先端を差し込み、ラスプを押し出し、取り外す。
- (2) 【保守・点検に係る事項】1～3に示すように、洗浄・滅菌する。

【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意**

- (1) 本品は未滅菌品であるので、必ず適切な滅菌を行い、滅菌されたことを確認してから使用すること。

- (2) 使用前に、破損・変形亀裂・傷・磨耗がないか、適切に機能するかどうかを点検すること。破損等が確認された場合は使用しないこと。
- (3) 破損、曲がり等の原因になり得るので使用時には必要以上の力を加えないこと。
- (4) 使用時に、破損し、体内に破損片が残存した場合、腐食やアレルギー、感染症を引き起こす可能性がある。
- (5) 感電を防ぐため、電気メス等の電気手術器との接触を避けること。
- (6) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- (7) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

清潔な場所に室温で保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄方法

- (1) 血液、分泌物、組織、又は骨等の付着物を除去する。
- (2) 超音波トレイを用いて洗浄後、可視的な汚れがあればブラッシングで除去する。
- (3) 自動洗浄機を用いて洗浄後、乾燥させる。

2. 製造業者推奨洗浄方法

本品への分泌物等の付着物の固着を避けるため、使用後直ちに付着物を除去するか、適した洗浄剤もしくは消毒剤に浸すこと。その後、以下のステップに従い洗浄、滅菌する。

<事前洗浄>

- (1) 冷水に5分間浸す。
- (2) アルカリ性洗浄剤を用いた超音波トレイで、40℃で10分間洗浄する。
- (3) 柔らかいブラシ又はスポンジ等でブラッシングし、付着物を全て除去する。このとき、スチール製ブラシ、針金製ブラシ及びクレンザー（磨き粉）等の使用は避ける。
- (4) ウォーターピストル（3.7bar 静圧以上）を用いて10秒間、冷水で洗い流す。

<自動洗浄>

- (1) 洗浄機に詰め込み過ぎないようにし、洗浄機内でしっかりと固定されていることを確認する。
- (2) 洗浄機の使用方法に応じて、的確な手順で洗浄する。このとき、全ての洗浄プログラムが正常に行われていることを確認すること。

例) 推奨自動洗浄プログラム

種類	プロセス
Vario—TD プログラム	① 冷水による、4分間のプレ洗浄 ② 排水 ③ 55℃のアルカリ性洗浄剤による、5分間の洗浄 ④ 排水 ⑤ 40℃以上のお湯による、3分間の中和 ⑥ 排水 ⑦ 40℃以上のお湯による、2分間の中間すすぎ ⑧ 排水

(3) 乾燥させる。

3. 滅菌方法

高圧蒸気滅菌にて滅菌する。

例) 高圧蒸気滅菌推奨条件

温度	暴露時間	形式
132℃	4分間(フルサイクル)	プリバキューム

4. 使用者による保守点検事項

- (1) 再使用時には、上記に示したように洗浄、滅菌したことを確認すること。
- (2) 使用後は速やかに洗浄液に浸漬させ、血液や組織等が乾燥し固着化することを避けること。
- (3) 目視にて残存物がないことを確認すること。特に、ジョイント箇所、及び凹凸箇所等細部の残存物に注意すること。
- (4) 目視にて残存物が確認された場合には、柔らかいブラシを使用し、残存物を完全に取り除くこと。表面の損傷原因となるため、スチール製ブラシ等の硬い素材のブラシ及びクレンザー（磨き粉）等の使用は避けること。
- (5) 超音波洗浄機及び自動洗浄装置の使用に際しては、各装置付属の使用説明書に順じて行うこと。
- (6) 本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素液に曝された場合、直ちに清水で洗浄すること。
- (7) 腐食を避けるため、消毒液又は洗浄液に長時間浸漬させないこと。また、浸漬後は、完全にすすぐこと。
- (8) 各施設において、本品の滅菌に関するバリデーションが適切に行われ、有効性が確認された滅菌サイクルにおいては、上述とは異なる滅菌条件で滅菌を行うことが可能であること。
- (9) 滅菌後は、滅菌処理が正確に行われたことを示すためにインジケーションを使用し、直射日光を避けて適切に保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ユフ精器株式会社

〒113-0034

東京都文京区湯島2丁目31番20号

TEL : 03-3811-1131

FAX : 03-3811-1727

外国製造業者

クライドラー メディツィンテヒニク ゲーエムベアー
ー(ドイツ)

Kreidler Medizintechnik GmbH (Germany)